

令和6年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

小規模企業景気動向調査 第1四半期 (R6年4~6月)

①業種及び地域別景気動向

業 種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品 等	機械 金属		耐久消費 その他	食料品	外 食	旅館	理美容 その他	運輸
町 内	売上額	→☘	↘☂	↗☘	↘☂	↘☂	→☘	→☂	↘☂	↘☂
	仕入単価	→☂	→☂	↘☂	↘☂	→☂	→☂	↘☂	→☂	→☂
	採 算	↗☘	↘☂	↗☂	→☘	→☂	↗☘	→☂	→☂	→☂
	資金繰り	→☘	↘☂	↘☂	↘☂	↗☘	→☂	↗☘	↘☂	→☂
	業界の業況	↗☘	↘☂	↗☘	→☂	→☂	↘☘	↘☘	↘☂	↘☂
北 信		→改善		↘悪化	↘悪化		↘悪化	→改善		↘悪化
県 内		持ち直しの動きに弱さがみられる								
全 国※		↗-26.5		↘-14.7	↘-32.0		↘-9.4	↗-15.6		↗0.0

(※ 景況 DI 値で表示、+値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

いくつかの主要な野菜が高騰しており利益を圧迫している。(青果小売業)

車業界の度重なる不正により仕入れや納期に苦慮している。(自動車小売業)

同業者が廃業し、そのあった取引が当方に流れてきてオーバーワークとなった(農機具販売)

町の合宿補助金の効果で例年より宿泊客が増えた(宿泊業)

《北信》

新札に向けての製造は一とおり終了。あとは微増減があるかもしれない(プリント基盤製造)

建設資材が毎月のように上がっていて、見積もりを出すのが難しい(建築板金)

最近、クレジットカードでポイントを得たい人が増えているように感じる(医薬品小売)

県外ナンバーの車が昨年より増加している(和食店)

《県内》

個人消費に影響を与える実質賃金の伸びがプラスに転じ、推移していくか注視する必要がある

《全国》

産業全体：依然として続くコスト高により、後退傾向が加速している

製 造 業：価格転嫁に限界を感じている

建 設 業：需要の高まりに対して、歯がゆい状況が続く

小 売 業：消費者の節約志向への対応策が問われている

サービス業：旅館関連の不調から、苦しい状況が見えてきた

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」